

24:1 週の初めの日の明け方早く、彼女たちは準備しておいた香料を持って墓に来了。

24:2 見ると、石が墓からわきに転がされていた。

24:3 そこで中に入ると、主イエスのからだは見当たらなかった。

24:4 そのため途方に暮れていると、見よ、まばゆいばかりの衣を着た人が二人、近くに来た。

24:5 彼女たちは恐ろしくなって、地面に顔を伏せた。すると、その人たちはこう言った。「あなたがあたは、どうして生きている方を死人の中に捜すのですか。」

24:6 ここにはおられませんが、よみがえられたのです。まだガリラヤにおられたころ、主がお話しになったことを思い出しなさい。

24:7 人の子は必ず罪人たちの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえると言われたでしょう。」

24:8 彼女たちはイエスのことばを思い出した。

24:9 そして墓から戻って、十一人とほかの人たち全員に、これらのことをすべて報告した。

24:10 それは、マグダラのマリア、ヨハンナ、ヤコブの母マリア、そして彼女たちとともにいた、ほかの女たちであった。彼女たちはこれらのことを使徒たちに話したが、

24:11 この話はたわごとのように思えたので、使徒たちは彼女たちを信じなかった。

24:12 しかしペテロは立ち上がり、走って墓に行った。そして、かがんでのぞき込むと、亜麻布だけが見えた。それで、この出来事に驚きながら自分のところに帰った。

人は死の前には希望を持つこともできないほど無力なのです。しかし主イエスは人類の初穂としてよみがえりました。

復活は事実であるから力があります。弟子たちの内面の希望という程度であるなら、誰もその希望を持つことができません。信じることで歴史にも、事実を見ることができず、それが復活の信仰なのです。

そしてその事実の上に、私たちの希望は成り立っています。私たちの身代わりになり死んでよみがえったことだからです。私たちは、私たちが同じようになると

いうことだからです。永遠のいのちの希望を持ち続けましょう。それが人に伝わるような生き方をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたなどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

